

国際政治

154

近現代の日本外交と強制力

日本国際政治学会編

序章 近現代の日本外交と強制力	佐 道 明 広
日清戦争以前の日本陸軍参謀本部の情報活動と軍事的対外認識	関 誠
国際軍縮会議と日本陸軍	高 杉 洋 平
戦後における自主国防路線と服部グループ	柴 山 太
「防衛力の在り方」をめぐる政治力学	千々和 泰 明
戦後の日本の政軍関係	小 出 輝 章
冷戦後における自衛隊の役割とその変容	藤 重 博 美
同盟締結理論と近代日本外交	川 崎 剛
今日の国際社会における非対称性脅威と強制力の役割	神 藤 猛
二一世紀における海洋安全保障	山 崎 眞

<書 評>

アンドリュー・キッド著 『国際関係における信頼と不信』	石 田 淳
安江則子著 『欧州公共圏』	鈴 木 一 人
佐々木卓也著 『アイゼンハワー政権の封じ込め政策』	小野沢 透
牛軍著 『冷戦期中国外交の政策決定』	増 田 雅 之

2008年12月刊